

PTA会長より ようこそ!同朋ファミリーへ

同朋高等学校父母と教師の会 会長 野口 裕司

先日開催された総会におきまして、PTA会長を仰せつかりました野口でございます。平素よりPTA活動にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

PTA活動の経験が浅い私には、大役ではございますが、役員の方々と一緒に、精一杯努めてまいります。ご支援どうぞよろしくお願いいたします。

さて、同朋高校は昨年創立60周年を迎え、今年は61周年の年です。元号も「令和」に代わり、まさに新しい時代の幕が開くかのようです。私たちの若い時代にはなかったスマートフォンやインターネットの普及、さらには成人年齢の引き下げなど、社会環境は急激に変化しています。このような時、私たち保護者がどのようなアドバイスをするのが問われ、またどのように答えてよいのか悩むのではないのでしょうか。子供達は何に悩み、何に期待しているのか。これらのことを親としてどのように理解し解決していくのか…。だからこそ、同朋ファミリーの一員であるPTA会員の皆様と互いに情報を共有しながら、子供達と共に将来に向けた道筋を作っていく時ではないかと思えます。本校PTAは、子供達の入学によるご縁で繋がっている会です。保護者である私たちも、今後開催される地域懇談会や文化祭、オープンフォーラム、父母懇談会などの行事・活動に多数参加し、交流を深め、子供達と同じように楽しい時間を過ごしませんか。外側から見た学校よりも、内側から見た学校の方がより多くの新しい情報などが分かんと思います。

PTA活動は役員と学校だけで進めるものではありません。会員の皆様からの貴重なご意見などが反映されて、成り立っていくような活動になることをお願いいたしまして、挨拶いたします。

今年度PTA役員の紹介

会 長	野口 裕司	事業委員長	松岡 真由美
副 会 長	大井 晶代	文化委員長	伊藤 博子
	小澤 慶子	生活指導委員長	西川 抄保里
	横井 建二	地域懇委員長	伊藤 久美子
会 計	長橋 如美		
会 計 監 査	奥村 幸栄		
	里崎 倫代		



第43回地域懇談会

地域懇談会とは、学年・クラスの枠を越えてお住まいの地域や出身中学校ごとに意見を交流し、学び合い、仲間を作る場です。生活指導、学習・進路、自主活動の分野でそれぞれタイムリーなテーマを設定し、地域懇談会で話し合っています。話し合いの中で学校への要望を出し合い、これからの学校づくりに活かしていきたいと考えております。

居住地域をもとに23地区を用意し、6月22日から7月7日までの土日のいずれかで地区ごとに実施します。多くのみなさまのご参加をお待ちしております。

Schedule [行事予定]

6月	22日 土	地域懇談会	12日 金	家庭学習日、三者懇談会 [~18日(木)]	22日 木	第1回学校公開日
	23日 日	地域懇談会、簿記実務検定	13日 土	音楽科第21回アンサンブル演奏会	24日 土	第2回学校公開日、 地域懇談会まとめの会
	29日 土	地域懇談会	14日 日	ビジネスコミュニケーション検定	25日 日	PTA研修
	30日 日	地域懇談会、ビジネス文書実務検定	16日 火	3限授業、2年生キャリア教育(全体会) 3年生商業科パーソナルカラー学習会	2日 月	始業式、1・2年生実力考査
7月	1日 月	期末考査 [~5日(金)]	17日 水	4限授業、2年生商業科租税教室	7日 土	3年生保護者進路ガイダンス、3年生学級懇談会
	6日 土	地域懇談会	18日 木	家庭学習日	14日 土	PTA常任委員会、1年生保護者進路ガイダンス、 2年生修学旅行説明会、1・2年生学級懇談会
	7日 日	地域懇談会	19日 金	終業式	22日 日	情報処理検定
	8日 月	芸術鑑賞	2日 金	オーストラリア語学研修 [~18日(日)]	26日 木	文化祭準備
	9日 火	2年生「薬物」講演、1年生キャリア教育	21日 水	出校日、3年生進学実力テスト、 1・2年生普通科実力テスト、就職者模擬面接指導	27日 金	文化祭 [~29日(日)]
	10日 水	4限授業 [~11日(木)]				
	11日 木	2年生キャリア教育(分科会)				

同朋和敬

6

学校通信

Doho High School Community Press
Vol.215 20 JUNE 2019

同朋高等学校

学校通信編集委員会

宇佐美 平 岩 久野 平野

名古屋市千代田区稲葉地町7の1

TEL 052-411-1159

同朋和敬

入学式&体育大会特集

Doho High School Community Press

6
Vol.215
学校通信



漫 画ルパン三世の生みの親、モンキー・パンチさんが先日81歳で亡くなった。外国人のようなこの名前は、漫画雑誌の編集長が付けた。主人公は小説『アルセーヌ・ルパン』の孫という設定。「事件大好き」な次元大介、盗賊の末裔・石川五郎門、「霊峰富士」から峰不二子、銭形平次の子孫・銭形警部と個性は強烈だ。『トムとジェリー』を銭形とルパンのコミカルなやり取りの参考にもした。ただ作者の思惑と違ったのは、「悪漢の大泥棒」がアニメや映画では「心優しい大泥棒」に変わっていったこと。世の中がそれだけ優しさを求めたということなのだろうか。

同朋高等学校長 梅田 功

平成31年度 入学式



学校長式辞

同朋高等学校長 梅田 功

春らしい穏やかな天候に恵まれ、桜も入学式を待ちわびるように満開で待っていてくれた今日のこの佳き日に入学式を挙行できますことは、まことに大きな喜びです。

これまでずっとお子様を温かく見守り、支えてこられた保護者の皆様、本日はおめでとうございます。立派に成長されたお子様の姿に、感激もひとしおかと存じます。本校は、保護者の皆様とともに教育を作る学校です。何かとご協力をお願いすることが多くなるかと思いますが、どうぞよろしく願いいたします。

先ほど入学を認定した462名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんの胸の中には、入学の喜びと、これから始まる学校生活への不安が入り混じった状態だろうと思います。先は長いですから、焦らず、じっくりと自分の将来を見つめながら、夢や希望に向かって一步一步着実に歩んでもらえれば大丈夫です。我々教職員も、皆さん一人ひとりに寄り添い、しっかりと支えていきますので、どうぞ安心してください。

さて、日本の平均寿命は、いま何歳か知っていますか？世界保健機関(WHO)の統計によると、昨年の日本人の平均寿命は、男性が81.1歳、女性が87.1歳で、世界1位の長寿国です。平和で治安が良く、食料に困らないということはもちろんあるのですが、今後も科学技術や医療技術などが進化し続け、平均寿命はさらに上昇すると見込まれています。

一昨年、イギリスのロンドンビジネススクールのリンダ・グラットン教授が、「平均寿命が延び、これからは『100年生きる』ことを前提に生き方を考えなければならない。従来考えられてきた教育・仕事・引退という単純な区割りでのライフステージの時代は終わり、これからは『引退』も含め、その時々で『教育』と『仕事』が絡みあう『マルチステージ』の人生プランを考える必要がある」と言いました。「100年人生時代」は、はるか先の話ではなく、ここにいるみなさんは100歳以上生きる確率が50%以上あると言われており、私たち

の生き方に大いにかかわる話であります。「100歳まで見据えた人生設計」と言われても、何をどう考えればいいのか困ると思いますが、グラットン教授は「100年ライフが当たり前になれば、人生の早い時期に一度にまとめて知識を身に付ける時代は終わるかもしれない」と言います。つまり、学生時代に一生懸命勉強して社会に出れば、仕事に関する知識や技術だけを習得すれば人生安泰という時代から、時流の変化を見極め、応用可能な知識と能力を常に身に付けなければならない時代へと変わるということです。

10年後には、AIにより多くの仕事が淘汰されると言われ、猛スピードで進む技術革新に、それまでに得た知識やスキルが追いつかず、すぐに役立たなくなる時代が到来します。すなわち、絶えず新しいことを学び、新しいスキルを身に付けることが求められ、「生涯にわたって学び続ける時代」が到来するということです。もう1つ言えば、その学びは与えられるだけの学びではなく、自ら課題を見つけ、主体的な学びをすることで、より実り豊かなものとなるということでもあります。幸い、同朋高校にはさまざまな学びの装置があります。いろいろなことに興味を持って、失敗を恐れず、積極的にチャレンジして、「生涯にわたって学び続ける」ための土台作りをしてください。

最後に、本校は親鸞聖人の教えを建学の精神に持つ、真宗大谷派の関係学校です。一人ひとりの違いを認めあい、豊かな人間関係を作る中で、個性を伸ばすことを目標としていますが、これから信頼できる仲間を作り、その仲間とともに学びあい、助け合い、自分の人間性を広く深く伸ばしていきましょう。順風満帆にいかないことのほうが多いと思いますが、苦しいときは人を頼り、人の力を借りてください。その時はお互い様です。迷惑をかけるからと遠慮することはありません。

今日から始まる同朋高校での学校生活が、有意義で実り豊かなものとなることを心から願って、式辞といたします。

来賓祝辞

PTA会長 恩田 晃様

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんの新しい門出に心からお祝いいたします。併せて、保護者の皆様にも心よりお喜び申し上げます。

さて、今日から皆さんは高校生となり、ここ同朋高校で新しい生活が始まります。これからの3年間は、先生方の教えや保護者の見守りの中、新しい友達を作り、勉強や学校行事や部活動に励み、これらを通して学ぶ幅の広さと深さを経験し、多くの課題に立ち向かう必要性を知ることでしょう。不安と戸惑いを覚えることも多々あることと思います。

人は、多くの出会いで成長します。これから始まる高校生活では、たくさんの新しい人との出会いとかかわりの中で語り合い、チャレンジすることで自分を見つけ、大きく成長することに繋がります。一つひとつの出会いを大切に、心から向き合える多くの友達を作ってください。

同朋高校の教育は、勉強はもちろんのこと、自主性を重んじ、自らが考え、判断して、行動する教育環境が備わっています。皆さんが熱意をもって接すれば、この学校の先生方はそれらを受け止め、支えてくださる素晴らしい方々がたくさんおみえです。



自分を信じ、周りの人と自分に「感謝すること」「ありがとうと言えること」を忘れずに、高校3年間で充実したものにしてください。そして、3年後、皆さんが胸を張って巣立っていくことを願っています。

保護者の皆様、我が子の成長した姿に、喜びと不安を抱かれていますことと思います。この同朋高校には、子供がより良い環境で過ごせるように、PTA活動、父母懇話会など、学年を超えた親同士、また先生方との交流や意見交換ができる多くの活動があります。保護者同士親睦を深め、学校のこと、進路のことを知りながら、子供と一緒に親も成長する機会にもなっています。ぜひとも保護者の皆様にはこれらの活動に関心を持っていただき、たくさんの方に参加していただければ幸いです。

最後になりますが、親子そろって「同朋高校でよかった」と思いながら卒業できることを願いまして、私の祝辞と致します。

新入生誓いの言葉

新入生代表 101 松本 百加 (名古屋市立大高中学校出身)

太陽の光が満ち溢れ、春の訪れとともに私たち新入生462名は、同朋高校の入学式を迎えることになりました。本日はこのような立派な入学式を行っていただき、誠にありがとうございます。今までとはまったく違う新しい生活の幕開けに、不安と期待が入り混じります。先日、私たちは中学校を卒業しました。そして今日からは高校生として、新しい制服にそでを通し、自分たちで選んだ道を歩んでいきます。3年間という月日は、決して長くはありません。その間にはきっとたくさんの困難や傷つき、よろめくことがあるかと思いますが、そんな時は仲間と手を取り合って、一步一步確実に歩み、乗り越えていきます。また、私たちはいつかの3年間で短かったと感じる日が来ると思います。その時は、同朋高校で学んだことを活かした、立派な大人になることを目標に精進する時です。そのために、勉強や部活動に励み、充実した自分らしい高校生活を送りたいと思います。先輩方、先生方、そして家族に迷惑をかけるかもしれませんが、優しく、時に厳しいご指導をいただけると幸いです。

今年から元号が変わり、新しい時代を迎えます。私たちは「令和」という時代を作り上げていく人になりたいです。最後になりますが、私たち新入生は、同朋高校の生徒としてこの場にいることを誇りに思います。歴史あるこの高校の伝統を守り、学校そのものをより良いものにしていくことをここに誓います。

平成31年4月5日



新任教員紹介

数学科・入試広報部

稲田 康隆 先生



名古屋市立大森中学校から入試広報部に参りました。各中学校に同朋高校の「よさ」を伝えると共に、生徒の皆さんには、数学Aの授業を通して、数学の「よさ」を感じてもらえるような授業にしたいと思います。

理科・入試広報部

小林 秋良 先生



津島市立神守中学校より参りました。入試広報部の一員として、生徒の皆さんの頑張り、先生方のご努力等、同朋高校のすばらしさを中学校に伝えたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

数学科

上田 真穂 先生



数学の教員として、数学の楽しさや面白さを少しでも多くの生徒に感じてもらうように頑張ります。また、1日1日を大切にしながら、部活動やさまざまな行事を通して皆さんと関わっていきたいと思います。



2019年5月16日

体育大会



体育大会でのあらゆる場面から、生徒たちの自己抑制と自己主張のバランスがしっかり育っていると感じました。

当日は開会式から片付けまで、他者の話を聞き、周囲を見回しながら、全員が楽しめる体育大会を作り上げてくれていました。応援合戦では、他の群団の発表を静かに鑑賞し、応援合戦のルールに沿って自分の群団の発表ができていました。クラス・クラブ・実行委員による片付けでも、全員で片付けてから、全員で引き上げることができていました。選手宣誓では、「人を動かすことの難しさを知りました」とのこと。まさに「行事で育つ」ことを、私たち教員も実感させられました。

実行委員とクラブの献身的な活動に支えられ、大過なく無事に体育大会が開催できたことに感謝を申しあげます。

体育大会実行委員会 総務担当
伊藤 孝晴



☆☆☆

体育大会結果

群団応援合戦	優 勝	桜	303・206・112
	準優勝	桃	312・204・104
	3 位	橙	306・210・102
群団対抗競技	優 勝	水	305・209・108
	準優勝	橙	306・210・102
	3 位	紫	308・202・110
クラス対抗競技	優 勝		306
	準優勝		307
	3 位		101



サクラの時間

303 西田 怜央（名古屋市立港南中学校出身）

自分たちは焦っていた。なぜ焦っていたか。それは確実に他の群団よりも準備が遅れていたからだ。群団長は、あの頼りないと思っていた幼なじみの伴野将磨で、まさか応援合戦優勝をできるとは思っていなかった。

体育大会の2、3週間前。時間だけが過ぎていて、「今日も何もしない感」だけが残る一日ばかりでとにかく焦りが募っていった。「〇〇が決まったよ」「今日は〇〇ができあがった」という話が他の群団から毎日聞こえてきた。団長は音源のつなぎ方がおかしいと言って一人で病み期に入り、女子の一部とはいさかいを起こし、クラスに不満が募っていた。

それでも難題を乗り越えよう、一生懸命協力しようと思えたのは、あの群団長だったからだ。あいつが責任を持ってまじめにやらなかったら、きっと誰もついていかなかったし、優勝もできていなかったとつくづく思う。あいつは人柄も良く、性格も良いやつだ。顔にもあまり出さないし、不満に思っている態度に出さなかった。でも自分は、あいつの白髪が少しずつ増えていくのに気付いていた。その分、自分たちがまわりに発信していかなきゃ、群団はまとまっていけないと思うようになった。あいつが怒らない分、自分たちが声をかけてまわった。

その結果、他の群団が味わえない喜びを手に入れた。動画や撮ってもらった写真を見返すと、鮮明に優勝した瞬間を思い出す。あの時の仲間の声も聞こえてくる。他の群団もすごい演技だったけれど、ほんのすこしだけ、自分たちの群団がそれを上回ることができたことは、何ものにも代えがたい自信となった。

ただひとつ、あいつに担ってもらった群団長を自分が手を挙げてやっていたら・・・とも考える。準備が始まる「あの日」にタイムスリップして、あの時の自分に助言ができるのであれば、「サクラ群団は優勝できる」「だから勇気を出して手を挙げろ」と言ってやりたい。そんな思いを味わった、いい体育大会だった。



協 力 101 浅田 咲亜来（岡崎市立翔南中学校出身）

私は、この体育大会でたくさんのことを学びました。高校生になって初めての体育大会、綱引きや応援合戦で皆の足を引っ張ってしまわないかと、とても不安でした。でも、皆が皆を応援しあって心がひとつになり、綱引きでは全勝することができました。また、101では競技部門で3位に入賞することができて、とても嬉しかったです。101は何か強いものを持っているなと感じました。黄色軍団での応援合戦では賞を獲得することはできませんでしたが、今までで一番盛り上がり、団結して、ミニオンドダンスができたと思いました。そして、私たちがこうやって体育大会を楽しむことができたのは、色々な人の協力があったからだ気づきました。母は私の汚した体操服を毎日綺麗に洗ってくれて、疲れて家に



先輩方の真剣さに応えたい

204 東 寛斗（名古屋市立豊国中学校出身）

2回目の体育大会。僕は応援練習に力を入れた。3年生は音楽科で、レベルの高いダンスについていくのに必死だったけれど、めちゃくちゃ練習をがんばった。だから、今、達成感でいっぱい。音楽科の先輩方は、僕達のやる気を出させようと色々な工夫をしてくれた。

まず、どんな状況でも笑顔で元よく教えてくれたことだ。初めは温度差があって、きっと腹の立つこともあったと思うけど、先輩方のやる気につられて、僕達もだんだんやる気が出てきて、少しずつまとまっていた。それに、クラスのLINEグループにも毎日のように長文でメッセージを送ってくれた。先輩方の真剣さが伝わり、優勝を狙っている先輩方に応えないとダメだと思える空気になったし、モチベーションを保ち続けてくれたと思う。

団長の存在も大きかった。女の人で体も小さいのに、元よく桃色群団全員をまとめていた。僕達を頑張りたい気持ちに変えてくれたパワーはすごいと思うし、練習場所の確保や細かいことにも気を配っていて、尊敬した。

そして、迎えた当日。本番はあっという間に終わった。ミスなく踊れたし、一体感があった。終わった後、僕は1位を確信していた。だが、結果は2位。2位という結果はすごいけど、先輩方は悔し涙を流していた。胸が熱くなった。先輩方の姿を見て、何事にも全力でやれる人はカッコいいなと心の底から思った。

来年は、3年生。僕はカッコいい先輩として引っ張っていける存在になりたい。そして、この悔しい気持ちを忘れず、優勝を狙っていきたい。



1年生 フレッシュマン合宿

今年の1年生フレッシュマン合宿は、4月17日～18日に学年を6クラスずつの2団に分け、郡上八幡ホテルとグリーンホテル三ヶ根を会場に実施しました。

中学校までの学習を振り返り、基礎固めをする「基礎学力検定試験(通称:基礎検)」の学習では、集中して勉強する姿や友達同士で教え合う姿が見られました。教え合いを通して教える側も教えられる側も改めて曖昧な部分の確認ができ、同時に仲間同士で助け合う大切さを感じられる時間となりました。

ホームルームでは委員長や副委員長が中心となり、各クラスで目標作りや仲間づくりのためのレクリエーションを行いました。また、2日目の昼食は、古代焼き(大滝鍾乳洞)や室内BBQ(オレンジパーク)を楽しみ、仲良くなった友達同士盛り上がり、疲れを癒しました。

2日間という短い期間でしたが、何事にも素直に取り組む生徒たちの姿を見て、担任団としても、これからの3年間の成長が楽しみになる合宿でした。

1年生学年主任 梶川 千友



フレッシュマン合宿を終えて

103 今井 啓介 (名古屋市立港明中学校出身)

最初のイメージは「勉強合宿」で、高校入学前から不安があった。検定では合格できるのか。初めて会う人と無事1泊できるのか…。

郡上八幡へ向かうバスの中。まだまだ話したことのない人しかない。まだまだ会話もぎこちない。最低限の会話しかなかった。だが、ホテルについて、自由時間を迎えると、少しずつ会話も増えた。今まで話せなかった人とも話せるようになった。

勉強時間。質問学習では、仲間とたくさん教えあうことができた。そこでのコミュニケーションが大きなものになった。検定を終え、答案返却。教えあった子の顔を見てみると笑みが浮かんだ。満点だった。その時、自分も一緒に嬉しくなった。

その後の自由時間。物まね大会をした。窓辺の椅子に座ってくだらないことも話した。夜には、怖い話をしてお互い震えた。とても充実した時間になった。

2日目。初めてのクラスレク。まだ異性とは話せていなかった。レクをきっかけに話し、お互い笑顔になった。

昼食のパーベキュー。みんなで盛り上げた。「ジャン負け、焦げたモヤシを食べろよ」と言ってみんなでジャンケン。何回も繰り返した。気づけば壁はなくなっていた。

これから新たな仲間と1年間、たくさんの行事で協力が必要になる。お互いを思いやることが大切だと思うので、今のうちに心掛けておこうと思った。仲間がそばにいてくれること。それが何よりもうれしいことだと実感した。

人の力になるために

105 高岡 美沙子 (名古屋市立平針中学校出身)

私は、フレッシュマン合宿に行く前は「さほど苦戦せずに検定に合格できるだろう」と考えていました。確かに私は、どの検定も無事一発合格できました。しかし、「本当は合格できたのに全力を出せず合格できなかった」という友達がありました。それが気がかりで仕方ありませんでした。

後日、母から「基礎学力検定はできて当然の簡単な問題しか出ないと聞いた」と言われました。「簡単だったといえど、こちらは苦戦したのに」と思いましたが、今考えてみると、全員合格だって決して不可能ではなかったのかもしれない。

では、なぜ不合格になったのか。私は、1級の試験ではあまり教え合いをしなかった気がします。勉強の教え合いは、教える側も改めて問題について考え直すので、勉強になります。教えられる側もちろん勉強になるので、互いに損はありません。私はもっと頼り、頼られるべきだったと思いました。フレッシュマン合宿で何回かトラブルもありましたが、どれも周りに話したことで切り抜けられました。しかし、自分から話をするのが苦手な人もいます。だから、ただ頼り頼られるのではなく、周りの人が困っていないか様子を見て、もしそのような人を見つけたら力になるということが大切だと思いました。

今回の合宿で、私はそれが不十分だったと思います。今後の学校生活では、「消しゴムを拾う」のような小さなことでも人の力になるよう努めたいと思いました。



2年生 野外活動・校外学習

— 教室では学びきれないことを探求する活動を行いました —



普通科は三重県の朝明茶屋キャンプ場で、「ビストロ同朋」と題して料理コンテストを行いました。各クラスとも班別にワンプレート料理をつくり、担任が調理の協力度、出来映えをもとにクラス1位を決め、隣のクラスの代表とどちらがより優れているかを引率の先生に試食していただいて優秀賞を決めました。普段は使わないかまどの火起こし、火加減の調整に苦労しながらも、各々が協力合って、メニューや味付け、盛り付けに工夫して料理を完成させていました。

商業科は豊田市にあるトヨタ自動車元町工場及びトヨタ会館を見学しました。実際の作業工程や会館内のアトラクション・展示等を見学することで、これからの車社会の進歩だけでなく社会全体の変化を考えるきっかけとなりました。スタッフの方からの丁寧な説明もあり、地元愛知の地場産業についての知識を深めることができました。

音楽科は静岡県の「ヤマハ掛川工場」と「浜松市楽器博物館」を訪問しました。掛川工場ではピアノの製造工程の説明を聞いた後、多くの熟練技術者の手作業による製作の様子を見学しました。楽器博物館では普段慣れ親しんでいる西洋の楽器や日本の楽器のほか、アジアやアフリカなど世界中のあらゆる楽器やその文化について学び、音楽に対する関心を一段と高めることができました。

好天にも恵まれ、新しいクラスメートとの交流や旧友との親交をさらに深めるとても良い機会にもなりました。

2年生学年主任 和田 英之

3年生 上山研修

本校の3年生は、毎年4月に学校を代表して真宗本廟(東本願寺)にて上山研修を行います。宗教研修ということもあり、最高学年らしく整齊した標準服姿で、3年生徒全員が真摯な姿勢で研修に臨むことができました。

高速道路の開通により予定より早く到着しましたので、大寝殿やギャラリー、ミュージアム、御影堂門を巡り、東本願寺と建造物の歴史と素晴らしさを知ることができました。

御影堂で行われた式典では、真宗宗歌の合唱から始まり、記念品の贈呈そして講話を頂きました。水を打ったように静かなお堂に、しみわたるお言葉を頂き、「今を生きる」私たちにとって、今後の歩み方について再度考えを巡らせる機会をいただきました。

午後からはクラスごとに清水寺、祇園周辺、錦市場を巡り、京都ならではの古都の町並みに触れることもできました。限られた時間での研修ではありましたが、最後の高校生活を迎える3年生一同にとって有意義な1日となりました。

3年生学年主任 日比 伸子



Club&Award News

■柔道部

第73回愛知県高等学校総合体育大会 名南支部予選会

柔道団体 女子2位

柔道団体 男子4位

第73回愛知県高等学校総合体育大会 県大会

女子63kg級 第3位 村松 琴音(210) 岡崎市立矢作中学校出身

■サッカー部

第2回東三河チャレンジカップ 準優勝

第73回愛知県高等学校総合体育大会 名南支部予選会 第5位

■バトン部

第44回全日本バトントワリング選手権 フリースタイルチーム

日本代表 IBTFグランプリ大会(フランス)出場

中島 笑里(208) 名古屋市立はとり中学校出身

■ラグビーフットボール部

第73回愛知県高等学校総合体育大会 名南知多支部予選会 優勝

■乗馬部

2019愛知馬術大会

障害60

第3位 黒田 英巨(307) 名古屋市立荻瀬中学校出身

障害80

第2位 石井 亜海(301) 桑名市立光風中学校出身

第3位 加藤 颯馬(304) 名古屋市立宝神中学校出身

障害70

第1位 加藤 颯馬(304) 名古屋市立宝神中学校出身

第2位 吉岡 悠馬(303) 名古屋市立宝神中学校出身

第3位 黒田 英巨(307) 名古屋市立荻瀬中学校出身

2019年岐阜スプリングホースショー

標準障害飛越60 優勝 熊澤 綾乃(308) 名古屋市立長良中学校出身

第5位 加藤 颯馬(304) 名古屋市立宝神中学校出身

標準障害飛越70 第3位 古橋 信平(206) 名古屋市立日比津中学校出身

標準障害飛越90 第3位 石井 亜海(301) 桑名市立光風中学校出身